



平成25年11月13日

各 位

上場会社名 株式会社 東京機械製作所
代表者 代表取締役社長 芝 良計
(コード番号 6335)
問合せ先責任者 経理部長 吉田 豊
(TEL 03-3451-8143)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成25年8月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成26年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,810	△350	△400	17,440	199.65
今回修正予想(B)	9,410	△2,640	△2,730	13,530	154.90
増減額(B-A)	△2,400	△2,290	△2,330	△3,910	
増減率(%)	△20.3	—	—	△22.4	
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	9,351	△4,802	△4,935	△8,074	△92.41

修正の理由

当社グループの主要取引先であります新聞印刷業界の設備投資は、依然低迷が続き回復が遅れています。このような状況を踏まえ、新製品の開発、国内外への需要喚起に努力してまいりました。しかしながら、予想しておりました新規受注が来期以降にずれ込む見込みであることから、売上高につきましては、前回公表数値を大幅に下回る見込みです。

しかしながら、本年7月に売却いたしましたオフィスビルに関しましては、武蔵小杉地域の再開発の動きに合わせ、隣地の買収を含め、オフィスビルの計画、建築、完成に至るまですべて当社の不動産事業として計画実行したものであり、諸事情から売上高に計上するには至りませんでした。その売却価格の約90億円は実質的には当社の不動産事業の一環としての売上とも言えるものであり、当社の業績に大きく寄与しております。

利益面につきましては、売上高の減少を主因として、営業利益、経常利益共に前回公表数値を下回る見込みです。

また、当期純利益につきましても、上記のオフィスビルの売却による特別利益を約38億円計上いたしました。平成25年10月4日に「当社及び連結子会社の固定資産の譲渡に関するお知らせ」にて公表いたしました。固定資産の売却に伴う損失と、平成25年11月12日に「特別損失の計上の変更に関するお知らせ」にて公表いたしました。地中障害物撤去費用及び土壌処分費用を計上することにより、前回公表数値を下回る見込みです。

(注)上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上